



2024(令和6)年8月1日発行

第124号

伊深まちづくり協議会  
ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram  
ibuka\_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram  
gallery\_ibuka



IBUKA\_MACHIZUKURI

## 報告

# 今後の成長が楽しみです！ 豆まきをお手伝い

6月27日(木)に伊深小学校3年生が、JAめぐみのの「豆なかな運動」に協賛して大豆の豆まきを行い、当協議会のメンバーがお手伝いをしました。

この日は、「フクユタカ」という品種の豆を子どもたちに一人分ずつ分けて渡しました。子どもたちはあらかじめ掘られたところに、二粒ほどの豆を手にとって、ていねいにまき、土をかぶせ、6列ほど作業をしました。最後には鳥などに豆が食べられてしまわないように、協議会メンバーが紐を張りました。

11月頃には収穫を見込んでいます。収穫後には、再度子どもたちに、お豆腐づくりの体験をしてもらい、出来上がったお豆腐を使って調理をする予定です。

※「豆なかな運動」は、大豆の「まめ」と、「お元気ですか」という方言を組み合わせた言葉で、大豆の栽培や加工を学ぶJAめぐみのの事業です。



← 晴天の下、大豆の種まきを実施



← 種を入れて土をかぶせます



← 大きくなれと祈ります

## 報告

# 種まき体験後のそばが成長しました！

5月10日に学童有志の子どもたちと一緒にまいた飛騨古川産の夏そばの種が、順調に発育して、ぐんぐんと伸び、白い可憐な花を咲かせています。

昨年は、暑さに負けてうまく成長しなかったのですが、今年は順調に生育しているので、ほっとしています。それでも、年々気温が高くなっているため、今後も収穫まで無事に実を結ぶことを願うばかりです。

収穫が待ち遠しいですね。



## 報告

# みんなでつくる「地域のお宝」

## 情報交換会(仮称)で事例発表を行いました！

7月6日に、総合福祉会館で開催されたみんなでつくる「地域のお宝」情報交換会に、当協議会の活動を発表しました。

この会は、「行政や社協が事業や条例を作るために意見を求める」のではなく、「同じような想いを持った住民がつながりを持つことで、活動が豊かになる」という考え方のもとに、地域で活動している「人」や「活動」を「宝」と例えて、地域の「宝」について情報交換を行う会でした。

会の冒頭で、当協議会の活動の概要と、具体的な事例として、小さな手助け「ちよつたのむ輪」のこれまで行ってきた活動について発表をしました。

その後、参加者は、グループに分かれて情報交換を行いました。他の地域の皆さんに、当協議会の活動を知っていただくと共に、様々なご意見、ご感想を聞かせていただくという、大変貴重で、有意義な会となりました。

今後も、「地域のお宝」についての情報交換会を継続したいという、プロジェクトチームの希望があるので、他の地域の活動や「お宝」について、学ぶ機会となることを期待します。



## 参加者募集!!

### 盆踊りの練習会を開催します！

### 盆踊り大会を楽しむために一緒に踊りましょう！！

盆踊りを楽しむために、事前に練習を行いますよ！！  
幻(?)の「伊深音頭」、「えげん坊」も練習します！  
大勢の皆様のご参加をお待ちしています！！

●とき: 8月9日(金) 午前10時～12時

●ところ: 伊深交流センター

●講師: 西村朝子さん



### 今後の予定

- 8月・9月に以下の事業を実施する予定で進める(一部協力する)ことにしました。
  - ・7月に引き続き～8月22日まで 学童クッキング(全8回)(伊深ごはん研究会)
  - ・8月9日 盆踊り練習会
  - ・8月13日 盆踊り大会(実行委員会) (※12日やぐら準備・14日片づけ)
  - ・8月23日 ふるさと財団視察(郷土料理の昼食提供:伊深ごはん研究会)

### 生活の中で、何かお困りことはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちよつたのむ輪)連絡員」または下記にご相談ください。  
**080-1561-4013**



伊深まちづくり協議会だより 第124号

2024. 8. 1発行 (毎月1回1日発行)

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町927-1

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

